

大阪 (100)	時間	研修内容	講師
5 月 24 日 (火)	9:30 ↓ 12:30 ↓ 13:30 ↓ 16:30	<p>◆ 内部監査の基本的な役割</p> <p>I. 今、何故、内部監査か？ ➤ 内部統制、内部監査の重要性</p> <p>II. 内部統制、内部監査とは？ ➤ 概念の整理 ➤ 内部統制のフレームワーク ➤ 内部監査のフレームワーク</p> <p>III. 内部監査の位置付け ➤ 内部監査部門・内部監査人に求められる要件 ➤ 内部監査人に求められる要件 ➤ 内部監査部門に求められる要件 ➤ 内部監査部門の組織上の位置付け ➤ 三様監査</p> <p>IV. 内部監査の今後の課題 ➤ CSA の活用 ➤ 内部監査の品質評価 ➤ 内部監査の継続的改善に向かって ➤ まとめに代えて</p> <p>※ 講師変更に伴い、若干、研修内容も変更となります。詳細につきましては当日発表させていただきます。ただし、講習の基本的な流れは変わりません。</p>	<p>● 都合により下記のとおり、講師が変更になりました。</p> <p>【変更前】 (社)日本内部監査協会 理事 (株)りそなホールディングス 執行役 内部監査部長 (株)近畿大阪銀行 社外取締役 吉 武 一 講師</p> <p>↓</p> <p>【変更後】 青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科 教授 松 井 隆 幸 講師</p>
5 月 25 日 (水)	9:30 ↓ 12:30 ↓ 13:30 ↓ 16:30	<p>◆ 内部監査の実務要領</p> <p>I. 内部監査部門の運営と内部監査計画の策定 ➤ 内部監査部門の管理・運営 ➤ 中長期計画と年度計画の策定 ➤ 内部監査部門の評価方法</p> <p>II. 個別監査の計画立案（予備調査） ➤ 監査範囲と目標の設定（監査価値の明確化） ➤ 監査対象先の現状把握（暫定評価） ➤ 監査手順の決定</p> <p>III. 個別監査の実施（実地監査） ➤ 現場での検証作業 ➤ 監査調書の作成 ➤ 監査結果に基づく意見交換会の開催</p> <p>IV. 結果の伝達と進捗状況のモニタリング （報告書作成とフォローアップ） ➤ 監査報告書の意義、機能と種類 ➤ 作成要領の標準化と効果的な活用 ➤ 進捗状況のモニタリング</p>	<p>(株)RHJ インターナショナル・ジャパン インターナル・デイト・ディレクター</p> <p>内部監査士(QIA) 公認内部監査人(CIA) 内部統制評価指導士(CCSA)</p> <p>清 水 武 講師</p>

- ※ 研修内容・講師が、やむを得ず変更になる場合は、あらかじめご了承ください。
- ※ 講義の進行の都合上、上記タイムスケジュールが変更になる場合や、講義時間が延長される場合があります。
- ※ 途中、1時間（12:30～13:30）の昼食時間を含め、適宜休憩を挟みながら講義を行います。
- ※ 研修費に昼食代は含まれておりませんので、各自でお取りください。

【 個人情報の取扱について 】 本申込書にご記入いただいた個人情報は、当講習会の運営を推進するために使用することを目的とします。また法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく、第三者に提供いたしません。

【※】 東北地方太平洋沖地震等の影響により、開催日時・会場が変更になる場合は、ホームページ等でお知らせいたします。恐れ入りますが、最新情報は当協会ホームページをご確認ください。